

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成17年11月10日(2005.11.10)

【公開番号】特開2000-94831(P2000-94831A)

【公開日】平成12年4月4日(2000.4.4)

【出願番号】特願平10-271638

【国際特許分類第7版】

B 41 M 5/00

【F I】

B 41 M 5/00 B

B 41 M 5/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成17年9月20日(2005.9.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 基材上に2層構成のインク受容層を備えた被記録媒体において、下層はペーマイト構造を有するアルミナ水和物とバインダーを含む多孔質層で、その上に形成された上層はシリカとバインダーを含む多孔質層であり、下層は層内部に空隙を有し、該空隙がこれより半径が小さい細孔を通してインク受容層表面に連通していることを特徴とする被記録媒体。

【請求項2】 前記インク受容層の細孔は半径2.0~20.0nmの範囲に最大ピークを有する請求項1記載の被記録媒体。

【請求項3】 前記インク受容層の細孔は半径6.0~20.0nmの範囲に最大ピークを有する請求項1記載の被記録媒体。

【請求項4】 前記インク受容層の細孔容積が0.4~1.0ml/gの範囲にある請求項1記載の被記録媒体。

【請求項5】 前記インク受容層の細孔容積が0.4~0.6ml/gの範囲にある請求項1記載の被記録媒体。

【請求項6】 前記細孔半径2.0~20.0nmの細孔容積が全細孔容積の80%以上である請求項1記載の被記録媒体。

【請求項7】 前記インク受容層の吸水量が0.4~1.0ml/gの範囲にある請求項1記載の被記録媒体。

【請求項8】 前記インク受容層の面内拡散係数が0.7~1.0の範囲にある請求項1記載の被記録媒体。

【請求項9】 被記録媒体にインクを付与して画像を形成する画像形成方法において、該被記録媒体が、請求項1ないし8のいずれかに記載の被記録媒体であることを特徴とする画像形成方法。

【請求項10】 前記インクを付与する方式に、インクジェット方式を用いる請求項9記載の画像形成方法。

【請求項11】 前記インク液滴を吐出させる方式が、色材の濃度の異なる3種類以上のインクを用いて印字を行う方式である請求項10記載の画像形成方法。

【請求項12】 前記インク液滴を吐出させる方式が、色材として顔料を含むインクと染料を含むインクを併用して印字を行う方式である請求項10記載の画像形成方法。

【請求項13】 前記インク液滴を吐出させる方式が、色調の異なる複数のインクを併用

して印字を行う方式である請求項1\_0記載の画像形成方法。